

# 協働事例集

～市民と行政が共に力を合わせて～



平成29年6月  
平塚市



## 協働事例集とは

近年、市民のニーズが多様化・複雑化する中で、行政だけでは対応できない地域課題が増えてきています。

一方で、多くの市民活動団体や、地縁団体、大学などが地域課題解決の担い手として活躍しています。

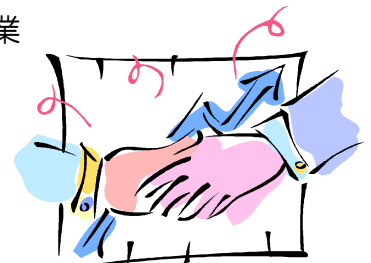
平塚市においても、市民と行政が連携・協力して地域課題を解決している事例が増えていきます。この事例集では、平成26年度から平成28年度の3年間に、市民と行政が協力・連携して実施した事業を調査し、事例集としてまとめました。

市民と行政職員が更に協働意識を高め、協働のまちづくりを進めるために、この協働事例集をご活用ください。

## 協働の定義

この冊子で紹介している事業では、様々な方法で市民と行政が連携・協力しています。より多くの事例を紹介するため、協働の定義を広く捉え、主に次のような方法の連携・協力事例を調査の対象としました。

- ①提案型協働事業     ・・・提案型協働事業制度により実施した事業
- ②共催                 ・・・市民と行政が共に主催者として実施する事業
- ③委託                 ・・・市からの委託により市民が実施する事業
- ④補助金             ・・・市が財政的支援をして市民が実施する事業
- ⑤実行委員会         ・・・市民と行政が実行委員会を組織して実施する事業
- ⑥物的支援            ・・・市が会場、用具などを用意して実施する事業
- ⑦人的支援            ・・・市が人材の派遣、事務局の支援などをする事業
- ⑧広報支援            ・・・市が周知広報の協力をして実施する事業
- ⑧ボランティア        ・・・市の事業に市民がボランティアで参加する事業
- ⑨事業協力            ・・・事業の実施に市民が協力する事業



## 1. 提案型協働事業（平成26年度～28年度に開始した事業）

事例紹介① 感覚統合療法普及事業	P 1
事例紹介② 平塚市立小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	P 4
事例紹介③ 市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業	P 7
事例紹介④ 不登校・ひきこもり改善・自立支援事業	P 10

## 2. その他の協働事業（平成26年度～平成28年度実施事業 抜粋）

事例紹介① 広報番組 ひらつかビジョン	P 13
事例紹介② 地域見守り花植え活動	P 14
事例紹介③ 平塚ビジネスケースプロジェクト	P 15
事例紹介④ パソコン交流カフェ ばそかふえ	P 16
事例紹介⑤ 公的機関等からの依頼による通訳・翻訳等ボランティア	P 17
事例紹介⑥ ひらつか環境フェア	P 18
事例紹介⑦ 西部丘陵地域資源まちづくり支援事業	P 19
事例紹介⑧ なでしこ公園ふれあい花壇の協働管理	P 20
事例紹介⑨ 平塚駅南口噴水広場のバラ植栽の維持管理	P 21
事例紹介⑩ 声の議会だより	P 22
事例紹介⑪ 通学路の安全対策に係る合同点検	P 23
事例紹介⑫ 土曜日の教育支援体制等構築事業	P 24
事例紹介⑬ 博物館文化祭	P 25

## 3. 提案型協働事業一覧（平成26年度～28年度実施 7事業） P 26

## 4. その他の協働事業一覧（平成26年度～28年度実 263事業） P 27

# 感覚統合療法普及事業

- パートナー：ひろげよう子育て支援の会
- 担当部署：健康・こども部 こども家庭課
- 提案型：行政提案型協働事業
- 事業年度：平成26～27年度

## 事業の目的と概要

発達に課題をもつ子どもたちへの療育プログラムの一つである感覚統合療法を普及する目的で、各事業をおこしました。

### ■ 感覚統合遊具の体験会を開催

事業の実施にあたり、こども発達支援室くれよん 1 階の保育室に感覚統合遊具を整備し活用しました。平成 26 年度より、親子で楽しく感覚統合遊具を体験できる「親子で遊ぼう会」を開催し、くれよん利用者の親子とともに保育所・幼稚園でお知らせを見た親子の参加もありました。また、児童発達支援事業所を利用する子どもたちが職員とともに来所し、遊具を体験利用しました。



### ■ 関係機関の勉強会を開催し、実践をサポート

児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所職員、幼稚園・保育所職員向けに「感覚統合を学ぶ勉強会」を開催し、理論を学ぶとともに遊具を体験しながら運動や感覚に課題のある子どもたちへの理解を深め、知識や体験を活かしたプログラムを子どもたちに実施できるようサポートしました。

### ■ 発達障がいと感覚統合の研修会を開催し、広く理解を深める

平成 26 年度には横浜市総合リハビリテーションセンターの作業療法士・松本政悦先生を、平成 27 年度には発達障がい当事者である笹森理絵さんを講師に研修会を開催し、多くの市民とともに発達障がいと感覚統合について理解を深めることができました。

親子であそぼう会、感覚統合勉強会は、今も継続して開催しています。

## お互いの特性を活かした役割分担

### ■ 行政の主な役割分担

通常業務でのチャンネルを利用し、事業所や保育所・幼稚園等への広報、会場確保等

### ■ 団体の主な役割分担

会員のノウハウを活かし、勉強会研修会の企画や運営。体験利用や遊ぼう会のサポート

## 事業費とその主な内容

### ■ 事業費と市の支出額

平成 26 年度 事業費 125,931 円（うち市の支出額 125,931 円）

平成 27 年度 事業費 114,360 円（うち市の支出額 64,860 円）

### ■ 主な支出の内容

講師謝礼・交通費（研修会）、スタッフ謝金・交通費（遊ぼう会、研修会、合同勉強会）、保険料（遊ぼう会傷害保険料、送金手数料）、通信費（研修会お知らせ発送）、事務用品・印刷（お知らせ印刷、封筒、宛名ラベル）

## 協働による成果

### ■ 市の施設・設備と団体の専門性を活かした遊具の配置

既存の市が持つ遊具とともに、新たにスイングを購入し、団体と協力して効果的に配置することができました。くれよんの相談や療育、親子であそぼう会、事業所の体験利用、勉強会などを通し、多くの市民に活用していただきました。

### ■ 多くの関係者に感覚統合療法が普及

団体の持つ知識や情報を、事業をおこなう中で共有することができ、子どもにかかわるさまざまな環境で、感覚統合について知ってもらうことができました。児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、幼稚園・保育所など多くの場面で、感覚統合療法を実践する事業所も多くなっています。

### ■ 行政、団体双方のネットワークを活かして多くの参加者を集める

研修会には、団体の持つネットワークと市からの幼稚園・保育所や事業所への広報により、多くの参加者があり、理解されにくい感覚の問題をわかりやすく知ってもらうことができました。

## 行政担当課の声

### ■ 団体のアイデアで市の資源を有効活用

団体からの提案により、スペースや遊具など、市が所有する資源を広く活用する機会を作ることができました。

### ■ 事業を通じて、支援者のスキル向上、市民の理解向上に繋がった

勉強会や研修会、遊具の体験利用などを通し、子どもに関わる支援者の知識やスキルが向上しました。また、感覚統合についての知識やスキルを、団体とともに共有し、理解されにくい感覚の課題を持つ子どもたちへの理解を、多くの市民とともに深めることができました。

引き続き、団体会員のサポートで、親子であそぼう会、勉強会を継続していきたいです。

### パートナーの団体概要

#### ■ 子どもの育ちを支援するよりよい環境づくり

子どもにかかわるさまざまな大人がつながることで、子どもの育ちを支援するよりよい環境を作っていくことを目的に、団体の活動を広げてきました。

#### ■ 協働事業で広がったネットワークを活かして講演会などを開催

協働事業を通し、これまで以上に多くの職種や事業所の職員にも事業に参加していただくことができ、関係を広げることができました。今後も、あそぼう会や勉強会で可能なサポートを継続しながら、子どもに関わる研修会や講演会を企画運営していきたいです。

### パートナーの声

#### ■ 協働を通じて、会員の知識、スキルアップに繋がった

さまざまな事業を通し、市と検討や準備をすることで、感覚統合遊具を活用して、保護者や子どもに関わる人たちに感覚統合についてどう伝えることが有効か、深く考える機会となり、会員の知識を深めスキルを高めることができました。

#### ■ 市との協働で自信がついた

市との協働事業をおこなったことにより、団体として今後の活動の継続に自信をつけることができました。

#### ■ 今後も、市の事業へのサポートを継続していく

親子であそぼう会、勉強会へのサポートを継続しています。子どもの育ちに関わる研修会や講演会を、広く市民に広報し、今後も開催していきたいです。



# 平塚市立小・中学校運動場、 体育館個人利用促進事業

- パートナー：東海大学地域スポーツクラブ
- 担当部署：社会教育部 スポーツ課
- 提案型：市民提案型協働事業テーマ設定部門
- 事業年度：平成26～28年度

## 事業の目的と概要

市が平成24年に行った「平塚市民における体力・スポーツ関係事項調査」によると、運動やスポーツを始めるきっかけとなりそうなものは、自宅から近距離で運動できる場所や施設の整備でした。

### ■ 市内の小中学校の体育館等を個人に開放

そこで、地域住民の運動・スポーツへの参加意欲を高めるために、小学校及び中学校の運動場、体育館を教育上支障のない範囲内において個人に開放し、地域住民の自主的なスポーツ活動の場として提供しました。

### ■ 3校で実施し、地域の多くの方が個人開放に参加

平成26年度は、2校で延29回開催し、登録者数202人、参加者数延549人でした。平成27年度は、3校で延33回開催し、登録者数225人、参加者数延449人でした。平成28年度は、3校で延29回開催し、登録者数170人、参加者数延436人でした。



### ■ 大学の持つスポーツ指導のノウハウと人材で魅力的なプログラムを提供

体育館の改修による会場の変更があったり、学校行事や天候不良による中止があったりして、参加者の増減はあったものの、東海大学が持つスポーツ指導のノウハウや人材を活かすことにより、地域住民や学校にとって安心・安全で、魅力的な個人開放プログラムを提供することができました。

## お互いの特性を活かした役割分担

### ■ 行政の主な役割分担

広報やホームページへの掲載、学校等の連絡・調整

### ■ 団体の主な役割分担

個人開放のための学生の派遣、個人開放プログラムの準備・運営、学校体育施設の利用手続き



## 事業費とその主な内容

### ■ 事業費と市の支出額

平成 26 年度	事業費	230,542 円	(うち市の支出額	200,000 円)
平成 27 年度	事業費	233,169 円	(うち市の支出額	200,000 円)
平成 28 年度	事業費	212,000 円	(うち市の支出額	180,000 円)

### ■ 主な支出の内容

謝金（有償ボランティア）、交通費、プログラム諸費（備品購入費）、保険料（施設所有（管理）者賠償責任保険）、事務費（会議関連、コピー代、通信費）

## 協働による成果

### ■ 個人で気軽に参加できるスポーツと交流の場

団体に所属しない個人が学校開放に気軽に参加でき、スポーツを通じた新たな交流の場となりました。

### ■ 学生の学びの実践の場

大学の地域貢献として、学生が日々学んでいる成果を試す場となり、市民が大学のことを理解し、身近に感じてもらえる機会となりました。

### ■ 市との協働で団体への信頼性を確保

市が広報や市ホームページで市民に広く広報することで団体の信頼性が確保され、多くの市民にレベルの高いスポーツ機会を提供できました。



## 行政担当課の声

### ■ 参加者から開放日を増やしてほしいとの声も

参加者から毎月開放日を楽しみにしているといった声や開放日数を増やしてほしいといった声もあり、市民にとって価値のある事業になったと思います。

### ■ 今後は障がい者スポーツ、ニュースポーツなどプログラムも工夫

今後は障がい者スポーツやニュースポーツなども取り入れながら、レベルの高いスポーツ機会の提供に努めてもらい、さらに地域住民の運動・スポーツへの参加意欲を高めていってほしいと思います。

### パートナーの団体概要

#### ■ 東海大学の施設を活用した体験プログラムなどを実施

東海大学の施設等を利用して、ウォークラリー、アウトドアクッキング、ツリーング（木登り）などの体験プログラム、ラグビー場や総合体育館を利用して自由に遊ぶプログラム、ログハウスでのクリスマスパーティーなどを企画し、子供たちを中心とした地域住民にプログラムを提供しています。また、冬には新潟県のスキー場を活用して雪国キャンプを実施しています。

#### ■ 大学生が企画・運営

これらは大学生が企画・運営し、教員がそのサポート・相談役として関わっています。参加者は固定されたものではなく随時募集をしており、地域に根差した活動をしています。

### パートナーの声

#### ■ 小学生とおじいちゃんがバドミントンで交流

参加者をコンスタントに確保できてきていることを実感しています。また、幅広い年齢層の方々が参加してくださり、地域住民の運動・スポーツへの参加意欲も向上してきていると思います。小学生の男の子と、おじいちゃんがバドミントンの試合をしている光景を見て嬉しく思いました。このように、スポーツを通して年齢関係なく交流ができることは魅力的だと改めて感じました。

#### ■ 参加者全ての方に満足してもらえるように

今後は、参加者が増えてきたため、来てくださった全ての方に満足してもらえるよう、より一層運営に力を入れていきたいです。具体的には、それぞれの参加者のニーズを学生が把握し、コントロールすることが必要だと考えます。また、障がい者スポーツやニュースポーツなども取り入れ、より多くの地域住民に運動・スポーツの楽しさや魅力を広めていきたいです。



# 市内スポーツ情報 ポータルサイトの構築・運営事業

- パートナー：認定 NPO 法人  
湘南ふじさわシニアネット
- 担当部署：スポーツ課
- 提案型：市民提案型協働事業
- 事業年度：平成26～28年度

## 事業の目的と概要

### ■ 市内のスポーツ情報を総合的に得られるポータルサイトが必要だった

平塚市の近年の調査では、市民がスポーツを始めるきっかけとなるものは、1位「身近に運動できる場所があること」、3位「仲間・家族からの誘いがある」でした。この2つで45%もの割合を占め、「運動施設」や「仲間と一緒に参加できるイベント」を知ることが、市民がスポーツに親しむための大きな要素であることが分かりました。

しかし現状行政では、これらの情報はほとんど無いかバラバラに散在しており、市民からの問合せに対し団体などの連絡先を教える等にとどまっていた。

市内のスポーツ施設や、活動するスポーツ団体のイベント情報を行政が把握・整備し、市民に向けて一元的に情報発信できるサービスの創成が望まれていました。

本事業は、上記の課題を解決するために、スポーツを希望する市民が「いつでも、どこでも、手軽に」ホームページから市内のスポーツ施設のみならず、各種スポーツ団体のイベント情報を総合的にリアルタイムで得られるポータルサイトの構築と運営を行うことを目的としました。

### ■ スポーツ参加率向上、団体活性化の効果に期待

このポータルサイトにより、スポーツに取り組む市民が増え、特に若い世代（20歳代～40歳代）のネットからの情報取得でスポーツ参加率が上がることが期待され、更に地域スポーツ団体もその活動が促進される相乗効果も期待できます。

ひらつかスポーツナビ

検索



## お互いの特性を活かした役割分担

### ■ 行政の主な役割分担

情報提供（各種スポーツ団体）、団体との折衝、広報、アンケート、会場確保、他課調整

### ■ 団体の主な役割分担

ポータル開発・テスト、運営、セキュリティ等保守管理、問合せ支援、教材開発・講習会実施

## 事業費とその主な内容

### ■ 事業費と市の支出額

平成 26 年度 事業費 1,134,000 円（うち市の支出額 1,134,000 円）

平成 27 年度 事業費 947,000 円（うち市の支出額 872,000 円）

平成 28 年度 事業費 905,000 円（うち市の支出額 785,000 円）

### ■ 主な支出の内容

人件費（企画・設計、開発、テスト、教材開発、定期打合せ）、外部調達品（レンタルサーバー、ドメイン・外付けソフトの購入）、交通費、事務用品（用紙等）、通信費（書類郵送）

## 協働による成果

### ■ 年間 10 万人超のアクセス

ポータルサイトへのアクセス状況は、3年目の平成 28 年度で、年間 10 万人（訪問者）超、28 万ページビュー（記事参照数）を達成しました。

### ■ 49 施設、147 団体の情報を掲載

情報掲載数（行政＋スポーツ団体の自主投稿）

- ・スポーツ施設 49 ヶ所、スポーツ 5 団体 67 団体、市民団体 80 団体
- ・イベント記事投稿（市ほかスポーツ団体等）年間 450 件

### ■ 各団体が自らスポーツ情報を発信できる市民参加型サイト

本ポータルサイトの最大の特徴は、市民団体が自らスポーツ情報を投稿ができるので、行政の一方通行でない市民団体参加型の総合的スポーツ情報発信サイトが構築・サービスインできたことです。

これは行政と市民（NPO 団体）協働の最大の成果であったと考えています。



## 行政担当課の声

### ■ 協働により市民目線を尊重したサイト構築ができた

協働によりサイトを構築することにより、民間団体の柔軟な視点での事業提案を取り入れ、より市民目線を尊重したサイトを構築することができました。利用団体やアクセス数も年を重ねるごとに着実に増えている状況にあります。今後は、「平塚市まちづくり財団」を新たに協働団体に迎え入れて、継続したサイトの運営を行っていきます。

### ■ 今後は若い世代へのアピールを強化したい

また、新たな取り組みとして、より若い世代に向け facebook を活用した広報活動の運用を開始し、スポーツに取り組むきっかけづくりを提供していきます。



### パートナーの団体概要

#### ■ シニア中心、地域に貢献し生き生きとした社会づくりに寄与する

シニアを中心に、地域社会における自己実現、個人の能力の社会的還元等を通じて、生き生きとした人間性豊かな社会の創造に寄与することを目的とする団体です。

#### ■ IT、経済、まちづくり、健康維持など幅広い分野で活動。行政、大学との協働。

活動は、IT 分野に留まらず、経済活動やまちづくり、更に市民の健康維持活動に広がり、行政や大学との協働事業も行っています。

#### ■ 認定 NPO 法人を取得

平成 25 年（2013 年）6 月に認定 NPO 法人として認可されました。

### パートナーの声

#### ■ 3 年間の協働で意欲的で計画的な作業ができた

3 年間の協働期間は、団体にとってはかなり意欲的で計画的な作業ができる期間であり、取り組み易かったです。

#### ■ 機能の追加、新しい技術の導入などにチャレンジ

初期の開発提供後にそのサービスをより改善・改良できる期間があったので、以下のような機能を追加することができました。

- ・市民団体参加型の新システム設計・開発と提供
  - ・平塚のスポーツ人材の紹介：画像スライダー＋記事
  - ・ウォーキングコース、駅伝ルートの開発で外部サイト連携
- また、新たな技術開発とその適用にチャレンジできました。
- ・PC～スマホまでの利用者向けHP 設計（レスポンス機能）
  - ・Facebook 連携の仕組み作りと実現
  - ・動画マニュアル作成

#### ■ 市との相互理解でスムーズに協働できた

市側の理解と調整機能が良く、大変スムーズに協働が進められました。また、広告・団体募集等でも地域の支持・支援が感じられました。

今後については、システム維持・提供のための財政的充実、開発を進めていきます。



# 不登校・ひきこもり 改善・自立支援事業

- パートナー：NPO 法人ぜんしん
- 担当部署：青少年課
- 提案型：市民提案型協働事業
- 事業年度：平成28年度～

## 事業の目的と概要

### ■ 不登校・ひきこもりに悩む親子が集うフリースペースを開設

本事業では、「ゲームやネット依存などにより不登校・ひきこもりに陥り、悩んでいる当事者親子が集い、相談等が出来るフリースペースを平塚市青少年相談室に開設いたしました。

### ■ ゲームなどの遊びを提供し外出のきっかけに

子ども向けの目的としては『外出の機会を得る』こととしました。手段として、フリースペースにおいてNPO法人の元当事者や他の参加者とゲーム等の遊びを交えて、外出の機会と、今後外出するきっかけとなること、将来的には就学や就職に繋ぐことです。



### ■ 保護者には、元当事者の体験談や市相談員から支援機関の情報を提供

保護者向けの目的としては、市の相談員及びNPO法人の元当事者等が相談に応じ、挫折や回復の体験談の提供や支援機関等の情報提供を実施することで、不登校やひきこもりのお子様に対する接し方に関する不安やお子様の将来への不安を和らげ、自立に向かう為の支援を行うものとなりました。

### ■ 想定を超える参加者。アンケートでも高い評価

平成28年度では、成果目標値と定めた参加人数16名に対し、実参加人数が23名と大きく上回り、また、アンケートの回答にも参加者から肯定意見や高い評価を多くいただきました。

## お互いの特性を活かした役割分担

### ■ 行政の主な役割分担

主に保護者に対する相談員の配置、面談室やフリースペースの確保、広報協力

### ■ 団体の主な役割分担

不登校等の経験を持つ相談員の配置、遊び等を交えた支援手法やパソコン等の機材提供

## 事業費とその主な内容

### ■ 事業費と市の支出額

平成 28 年度 事業費 122,695 円（うち市の支出額 120,000 円）

### ■ 主な支出の内容

人件費（当日運営、事前準備等）、事務用品費（コピー用紙、インク代）、印刷費（告知パンフレット）、旅費・交通費（当事者スタッフ）、通信費（行政機関や他の機関への告知の為に郵送費）、食糧費（当日のお茶出し※団体負担）

## 協働による成果

### ■ 悩みを解決できない当事者親子の回復のきっかけを与えられた

市内にある既存の行政部門や関連する市民活動団体等で悩みの解決策を見出せない当事者親子に対して問題改善、自立(回復)へ向けたきっかけを与えることができました。

### ■ 行政との協働で団体の信頼度も高まった

活動スペースの確保だけでなく、行政による広範な周知協力を得られました。また、協働事業の受託団体として信頼度が高まり、活動がしやすくなりました。

### ■ 元当事者の体験談を活かしたワンストップの支援

市内諸機関で解決策を得られない相談者へワンストップで、支援の手を差し伸べられ、また、元当事者による挫折・回復経験談等の貴重な支援情報を得ることができました。



## 行政担当課の声

### ■ 事前の十分な協議で双方の強みを活かした相乗効果を得られた

平成 28 年度に新規開催するに当たり、手探りの部分もありましたが、団体との十分な事前の協議によって双方の得意分野・強みを活かすことができ、協働事業としての大きな相乗効果が得られたと思います。

### ■ 当事者に寄り添った団体スタッフのアドバイスが市の相談スキルの向上にもつながった

青少年相談職員の率直な意見・感想として、NPO法人の元当事者の実体験に基づくアドバイスや寄り添う言葉は現に悩みを抱える当事者の心に深く響くものであり、今後の相談スキル向上に反映できる貴重な情報でした。

この事業を通じて青少年相談室の存在を広く知っていただき、今後も青少年及びその保護者の不安や困りごとの相談をしやすい機関になりたいと考えています。

### パートナーの団体概要

#### ■ 不登校・ひきもりの元当事者親子が中心に活動、ゲーム等を活用した遊び感覚の支援

不登校やひきこもり等を経験し、回復した親子が中心となり、支援活動を行っています。また、ゲームで日本一になった元当事者らがゲームを活用する等、遊び感覚の支援をもとに自立を支援しています。

#### ■ 市内外の行政機関、団体と連携して寄り添い型の支援を提供

平塚市内外の数多くの行政機関・諸団体と連携し、各家庭の事情に合わせ、寄り添い型の支援を行っていることも特徴です。居場所の提供、就労支援パソコン講座の開催や個別相談(訪問支援)等を展開することで、悩みを抱える親子の自立を支援しています。

### パートナーの声

#### ■ 市と協働する事で支援が充実できた

市の担当職員と団体スタッフは、適切な役割分担、対等な立場で、良好な関係を維持しながら事業を実施することが出来ました。

市から活動スペースの提供や広報協力等を得られたことで、団体がこれまでに実施して来た定例活動等で掘り起こせなかった親子に対し、支援の手を差し伸べることが出来たと思います。

#### ■ 一人でも多くの親子が自立できるように支援活動を継続していきたい

今後も市と連携を深めながら、一人でも多くの親子が、きっかけをつかみ、自立できるように支援活動を継続していきたいと考えています。





# 広報番組 ひらつかビジョン

- パートナー：東海大学文学部広報メディア学科学生
- 担当部署：企画政策部 秘書広報課
- 事業開始：平成25年度

## 事業の概要

市政の動きやまちの話題などを紹介し、その目的や背景、取り組みの経緯や課題などを広く市民にお知らせすることを目的に、東海大学と協働して制作している広報番組です。

東海大学文学部広報メディア学科の学生に、学生リポーターとして出演してもらい、環境や災害対策、観光など、毎回、様々なテーマを取り上げて紹介しています。2か月おきに制作しており、平成25年度から現在まで、延べ24本の番組を制作。湘南ケーブルネットワークの湘南チャンネル（002ch）や、YouTubeの「神奈川県平塚市 公式チャンネル」で放送・配信しています。

また、「#6 大学生がつくる平塚市のCM（平成26年3月制作）」が平成26年神奈川県広報コンクールの映像の部で最優秀賞を受賞し、「#22 大地震・自主防災で命を守る（平成28年11月制作）」も平成28年の同コンクールで優秀賞を受賞するなど、県内でも高く評価されています。



大学生がつくる平塚市のCM

## 協働に至ったきっかけ・経緯等

平成24年度まで多く制作していた行政からの「お知らせ型」の番組から趣向を変え、市政の動きやまちの話題を市民目線で紹介する「問題提起型」の番組を制作するという目的から、東海大学文学部広報メディア学科の協力を得て、より市民の感覚に近い大学生に、さまざまなテーマをレポートしてもらった番組を制作することになりました。

## お互いの特性を活かした役割分担

- 行政の主な役割分担  
テーマの設定、撮影先との交渉、撮影日程の調整、撮影業者との調整、撮影立ち合いなど
- 団体の主な役割分担  
番組内でのレポート

# 地域見守り花植え活動

- パートナー：平塚市防犯協会
- 担当部署：防災危機管理部 危機管理課
- 事業開始：平成27年度

## 事業の概要

地域防犯力の向上及び平塚市防犯協会の活動の活性化を目的に、平成27年度から「地域見守り花植え活動」を実施しています。

この活動は、犯罪者は人の目を極端に嫌う特性があるため、通学路や公園・道路わきなど目立つところに花を植え、花の手入れや鑑賞を目的に人の往来が増えることで花による環境美化が推進されることや、地域の見守りの目が増え、犯罪抑止力の向上に繋がることが期待できます。

平成28年度は17地区で実施し、各地区の防犯協会支部がチューリップ球根の植栽を行いました。



## 協働に至ったきっかけ・経緯等

従前から市と平塚市防犯協会は連携して防犯活動に取り組んでいます。「地域見守り花植え活動」は、平塚市防犯協会の活動の一環で実施しています。

## お互いの特性を活かした役割分担

- 行政の主な役割分担  
チューリップ球根の配布、学校や公園等の公共用地利用時の調整、プレート看板の作成
- 団体の主な役割分担  
植栽場所の確保、チューリップ球根の植え付け、水やり等の手入れ

# 平塚市ビジネスケースプロジェクト

## 事業の概要

- パートナー：東海大学、神奈川大学等の大学生、  
大学院生
- 担当部署：産業振興部 産業振興課
- 事業開始：平成26年度

平塚市ビジネスケースプロジェクトは、平塚市と東海大学及び神奈川大学等の経営学系の学部が協力し、市内企業のケーススタディをとりまとめ、ホームページや冊子等により情報発信を進めています。

市の戦略的施策構築に必要な、市内企業のデータ集積と、市内企業と大学の接点作りを主な目的としています。

このプロジェクトは毎年、市内企業と大学に協力いただき実施しています。企業にはモデルケースとしてチームのインタビュー等に協力していただき、公開できる情報の判断もいただきます。大学には参加チーム募集のための広報等に協力いただきます。

これまで、東海大学、神奈川大学のチームが参加し、3年間で3事例（4事業者）のケースが完成しました。



## 協働に至ったきっかけ・経緯等

当初は、行政による企業のヒアリング調査を検討しましたが、調査対象が広範にわたることや、大学が参加するメリット（市内企業への興味喚起、行政目線でない企業調査の実施、経営系の学部生と工業系の企業の接点づくり等）が多いことから、大学生・院生のチームによる調査を行うことにしました。

## お互いの特性を活かした役割分担

### ■ 行政の主な役割分担

調査対象企業との調整、参加チームの募集・調整・フォロー、ビジネスケースの審査、ビジネスケースの公開・活用など

### ■ 団体の主な役割分担

学生はチームの結成、参加申込、研究計画の立案、調査研究（インタビュー等）、ビジネスケースの作成、完成品の確認、提出、発表等

# パソコン交流カフェ ぱそかふえ

- パートナー：NPO 法人ひらつかIT サポート
- 担当部署：市民部 協働推進課
- 事業開始：平成26年度

## 事業の概要

市民活動団体の ICT スキルの向上と、団体間の交流連携の促進を目的として、個人で参加し、パソコンやインターネットの知識などを学べる交流会「ぱそかふえ」を開催しています。

ぱそかふえは、市民活動センターで、月に2回（第1・3金）開催しています。参加費は1回500円です。

内容は、前半が共通のテーマについてのミニ講義で、ワードやエクセルの便利機能や、フェイスブックなどのソーシャルメディア、セキュリティなどを学んでいます。後半は、参加者の興味のあることや、困っていることなどについて個別相談をしたり、参加者同士で交流をしています。

この事業は、NPO 法人ひらつかIT サポートと市が共催で実施し、当日の運営は全て団体が実施しています。身近な存在の団体の方が親身になって教えてくれるため、とても人気のある交流会で、平成28年度は23回開催して延べ143名の方が参加されました。



## 協働に至ったきっかけ・経緯等

元々は、誰でも参加できる無料パソコン相談会を実施していました。一方でパソコンやインターネットなどの悩みを抱える団体の方が多いことから、回数を増やし、ただ学ぶだけでなく交流も出来るようにしたいということで、平成26年度から新たに「ぱそかふえ」を実施しました。

## お互いの特性を活かした役割分担

- 行政の主な役割分担  
会場確保、広報周知
- 団体の主な役割分担  
事業企画・運営、会員管理、参加費徴収



# 公的機関等からの依頼による 通訳・翻訳等ボランティア

- パートナー：平塚市通訳翻訳等ボランティアバンク
- 担当部署：市民部 文化・交流課
- 事業開始：平成11年度

## 事業の概要

外国籍市民にも暮らしやすい多文化共生のまちづくりを目指して、通訳・翻訳の公的サービスの提供や外国籍市民と地域住民との交流を進める活動をする方を平塚市通訳・翻訳等ボランティアバンクシステムに登録していただいています。事業を行う上では、外国籍市民、地域住民、ボランティア、行政が連携し、協働しています。

### ■ 研修会(主に6, 12, 3月の土日で調整)

外国籍市民や通訳・翻訳ボランティアが知っておくと役立つテーマと講師を選定して、研修会を開催。

### ■ 平塚市通訳・翻訳等ボランティアの派遣

公的機関(学校や市役所等)から依頼を受けた案件に対し、通訳や通訳者を派遣(有償ボランティア)。

### ■ ひらつかワールドフェア(10月末頃開催)

平塚市通訳・翻訳等ボランティアバンクシステム登録者有志によるイベントで、各国の料理や音楽・ダンス等を紹介しながら、市民と交流しています。

### ■ 外国籍市民相談窓口

市役所での手続きの通訳や日常生活で困ったことの相談をお受けしています。市民情報・相談課にポルトガル語・スペイン語の通訳を毎週各1回派遣。



## 協働に至ったきっかけ・経緯等

外国籍市民にも暮らしやすい多文化共生のまちづくりを目指して、通訳・翻訳の公的サービスの提供や外国籍市民と地域住民との交流を進めることを目的として「平塚市SWINGボランティア連絡会」を平成11年4月1日に立ち上げ平成19年8月1日から現在の名称となる。

## お互いの特性を活かした役割分担

### ■ 行政の主な役割分担

通訳・翻訳ボランティアや外国文化紹介ボランティアの登録・派遣、通訳・翻訳する際に必要となる外国籍市民の方に役立つ内容の研修会の実施

### ■ 団体の主な役割分担

公的機関や市役所等で通訳・翻訳、市役所の外国籍市民相談窓口の通訳対応(ポルトガル語・スペイン語、各週1日)、母国の文化等を紹介する講座等の講師

# ひらつか環境フェア

- パートナー：ひらつか環境フェア実行委員会
- 担当部署：環境部 環境政策課
- 事業開始：平成20年度

## 事業の概要

地球温暖化対策のため、市民一人ひとりがエネルギーや資源を大量に消費・廃棄する現在の生活を見直し、環境に配慮した生活を実践していくためのきっかけづくりの場として「ひらつか環境フェア」を実施しています。

ひらつか環境フェアでは、市民活動団体や事業者、大学、行政などの各主体が一体となって、それぞれの取組を紹介するとともに、体験型の環境教室を実施したり、パネル・物品等を展示することにより、地球温暖化対策に関する情報を広く発信し、環境啓発活動を実施しています。

平成28年度は、市庁舎本館1階多目的スペースにて2日間開催し、市民活動団体、事業者、大学、行政など25団体の出展があり、約860人の来場がありました。



## 協働に至ったきっかけ・経緯等

環境フェアでは、市民活動団体や事業者、大学、行政などが、それぞれの取り組みや環境に関する情報を連携して発信するため、各主体で構成する実行委員会を立ち上げました。

実行委員会では、企画立案から運営方法までの様々な意見を取り入れるため会議を開催しています。

## お互いの特性を活かした役割分担

### ■ 行政の主な役割分担

会場の確保、実行委員会への助言、資料の作成、会場の準備と片づけ

### ■ 団体の主な役割分担

実行委員会の運営、フェア当日の運営と受付、会場の準備と片づけ

# 西部丘陵地域資源 まちづくり支援事業

- パートナー：湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会  
東京農業大学地域環境科学部
- 担当部署：まちづくり政策部 まちづくり政策課
- 事業開始：平成19年度

## 事業の概要

吉沢地区の活性化を目的として、豊かな自然と地域資源の活用方策について、地域住民により組織された「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」、学術機関及び企業と協働で進めています。

協議会では、学術機関（東京農業大学、東海大学）と連携した里山体験ワークショップの開催などを通して、里山の散策路整備や景観づくり、里山の資源をいかしたものづくり体験や収穫体験などの活動を実施しています。

平成26年からは協議会を中心に吉沢八景選定プロジェクトが開始され、平成28年1月に「吉沢八景」が公表されました。現在、「吉沢八景」を活用した地区全体の魅力発信、交流人口を拡大するための検討を行っており、地区内外に向けた情報発信の方策として、吉沢八景に係るガイドブックの作成や案内板の作成・設置などの取組みを協働で進めています。



## 協働に至ったきっかけ・経緯等

吉沢地区における農業の担い手の減少、高齢化、荒廃山林の増加等による里山環境悪化などの地域問題解決のため、平成19年10月、吉沢地区住民により、「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」が設立され、協議会とともに、地域の再生・活性化を研究している専門の学術機関及び企業と協働で地域の活性化等について検討することとなりました。

## お互いの特性を活かした役割分担

### ■ 行政の主な役割分担

地域資源活用に係る会議等への出席、まちづくりに関する専門家の派遣、関係機関との調整、イベント周知等

### ■ 団体の主な役割分担

里山体験ワークショップ等イベントの開催、地域資源活用に係る会議等の開催、吉沢八景に係る観光マップの作成や案内板の作成・設置

# なでしこ公園ふれあい花壇 の協働管理

- パートナー：なでしこフラワーボランティア
- 担当部署：都市整備部 みどり公園・水辺課
- 事業開始：平成5年度

## 事業の概要

なでしこ公園ふれあい花壇は、平成5年3月31日に都市公園指定されたなでしこ公園内にあります。

なでしこ地区に以前からある「なでしこ地区自治会緑花部（なでしこフラワーボランティア）」が公園の花壇の管理をし、市からは花苗と肥料等を提供しています。花苗の植え替え時には、なでしこ小学校5年生となでしこ小学校子ども会のみなさんと協働で花の植え替えを行っています。

みどり公園・水辺課と協力してその花壇の植替え及び管理にあたるという関係が続いています。



## 協働に至ったきっかけ・経緯等

公園の設計時からボランティアとの話し合いを重ね、花壇を設けるよう設計されました。この花壇を公共ふれあい花壇と指定し、公園開設後は、フラワーボランティアが花壇の管理をしています。

## お互いの特性を活かした役割分担

- 行政の主な役割分担  
花苗と肥料等を提供
- 団体の主な役割分担  
花壇の管理



# 平塚駅南口噴水広場の バラ植栽の維持管理

- パートナー：平塚 花のまちづくりの会
- 担当部署：土木部 道路管理課
- 事業開始：平成25年度

## 事業の概要

平成25年5月に完了した平塚駅南口広場の改修に合わせ、花のまちづくりの会によりバラの植栽及び維持管理が行われています。20名の会員で構成されており、週1回バラの維持管理の活動をしています。

活動内容は、噴水の周りに植えられている各種のバラや草花の手入れ、除草やゴミ拾いを行っています。広場には約60種類、106本のバラが植えられており、春と秋には大輪のバラを咲かせています。平塚市でも、広場の土の入れ替え、肥料の配布や花壇の整備を行っています。



## 協働に至ったきっかけ・経緯等

当初、平塚駅南口広場の噴水周りは人々が立ち入ることが出来ず、噴水の周りに高木や低木などの植栽があるだけの場所でしたが、市民がくつろげる憩いの空間をとの声により広場の改修が行われました。広場の改修に合わせて、花のまちづくりの会がひらつか市民活動ファンドを活用し、花一杯の美しい景観づくりをすることを目的として活動がスタートしました。

## お互いの特性を活かした役割分担

### ■ 行政の主な役割分担

広場内施設の維持管理、噴水の維持管理、高木の剪定、肥料などの提供、関係官庁や公共交通機関への調整

### ■ 団体の主な役割分担

バラなどの維持管理、広場内の除草、ゴミ拾い

## 声の議会だより

### 事業の概要

- パートナー：平塚音訳赤十字奉仕団  
平塚市社会福祉協議会
- 担当部署：議会局
- 事業開始：平成17年度

平塚市議会では、目の不自由な方に議会の活動状況をお伝えするため、議会広報紙「ひらつか議会だより」の内容を音声化した「声の議会だより」を発行しています。

声の議会だよりは、文字や図などの情報を音声化する「音訳」の活動をしている平塚音訳赤十字奉仕団の皆さんが、音楽 CD 形式とデージー形式の2種類をボランティアで作製しています。

この奉仕団では、声の議会だよりのほかにも、広報ひらつかの内容を朗読した「声の広報」や小説、旅行情報誌、料理本、図鑑、家電の取扱説明書、国家試験の教材など、さまざまな本を音訳しています。

完成した声の議会だよりは平塚市社会福祉協議会が希望者へ発送しており、現在は26名に提供しています。

### 協働に至ったきっかけ・経緯等

平成元年11月3日発行の議会だより第77号から声の議会だよりを発行しています。

平塚音訳赤十字奉仕団の皆さんには平成17年5月28日発行の議会だより第147号からご協力をいただき、現在に至ります。

### お互いの特性を活かした役割分担

#### ■ 行政の主な役割分担

声の議会だよりの原稿作成、ホームページなどによる周知

#### ■ 団体の主な役割分担

平塚音訳赤十字奉仕団 … 声の議会だよりの作製（音楽 CD 形式、デージー形式）

平塚市社会福祉協議会 … 提供希望者への郵送

# 通学路の安全対策に係る合同点検

- パートナー：保護者、自治会、警察
- 担当部署：学校教育部 教育総務課
- 事業開始：平成24年度

## 事業の概要

通学路における交通安全の確保に向けた取り組みを継続的に行うため、通学路交通安全推進会議を設置し、合同点検を実施しています。その推進会議にて、実施から対策等の決定、その対策結果の有効性の確認、改善・充実を一連のサイクルとして繰り返し実施しています。

実際の手順としては、各学校において保護者や地域の方の協力を得て通学路の点検と危険個所の抽出を行った上で、学校が教育委員会に報告します。

教育委員会では、危険個所をまとめ、通学路交通安全推進会議において対策案、現地点検の実施について検討し、学校、保護者、道路管理者、警察等と合同で現地点検を実施します。

その後、対策案をまとめ、道路管理者、警察等と連携し、安全対策を実施します。実施後は、関係機関での認識を共有するため、対策箇所の公表をしています。

## 協働に至ったきっかけ・経緯等

平成24年に相次いで起こった登下校中の事故を受け、通学路における交通安全を一層確実にするため、安全点検及び安全対策を講じるよう国から通知があり、道路管理者や警察等と連携して点検を行うようになりました。

## お互いの特性を活かした役割分担

### ■ 行政の主な役割分担

学校と保護者、地域が抽出した通学路の危険個所のまとめ、学校、保護者、警察、道路管理者及び関係各課との連絡調整、合同点検実施、推進会議の開催、資料作成

### ■ 団体の主な役割分担

通学路の危険個所の確認、看板設置、見守り

# 土曜日の教育支援体制等構築事業

- パートナー：横内マイタウンスクール
- 担当部署：社会教育部 社会教育課
- 事業開始：平成27年度

## 事業の概要

土曜日等（土曜日、日曜日、祝日、長期休暇日）に、地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力を得て勉強やスポーツ、文化活動等の取り組みを行い、子どもたちがより豊かで有意義な土曜日等を過ごすことを目的に実施している事業です。平塚市では、平成27年度から横内地区の「横内マイタウンスクール」にて事業を行っています。

陸上・ハイキング・ドッジボール・卓球・剣道などの体育サークル、茶道・琴などの文化サークルといった学校では学べないような多様なプログラムを土曜日、日曜日及び祝日に行っています。講師・指導者を地域のボランティアや保護者が担うことで、地域との繋がりが薄くなりがちな子育て世代の地域デビューのきっかけにもなっています。

特に、太鼓・ジュニアバンドなどの音楽サークルは高齢者介護施設を訪問して演奏発表するなど世代間交流の拡大につながっています。



## 協働に至ったきっかけ・経緯等

小・中学校が週5日制に完全移行する中、地域で子どもたちの居場所づくりの声があがり、平成14年度に「横内マイタウンスクール」がスタートしました。平成27年度から、前年に国が開始した「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」を活用して市が当事業を支援するようになりました。

## お互いの特性を活かした役割分担

- 行政の主な役割分担  
県への補助金申請事務、委託契約手続き、県主催の研修の情報提供
- 団体の主な役割分担  
日誌の管理、参加児童保護者との連絡、月間予定表の作成と配布、各プログラムの実施、指導者の調整、学校及び地域諸団体との調整連絡

# 博物館文化祭

- パートナー：博物館文化祭実行委員会
- 担当部署：社会教育部 博物館
- 事業開始：平成11年度

## 事業の概要

博物館では考古・歴史・民俗・生物・地質・天文の各分野で、学芸員とともに調査・研究・教育普及事業に携わる複数のワーキンググループが活動しています。このワーキンググループ間の交流・連携をはかるとともに、その活動成果を、多くの市民に知っていただき、還元することを目的に、平成11年度から開催しています。

博物館文化祭の内容は、特別展示室での展示や講堂での活動報告会のほか、ワーキンググループによる一般市民向けの実演イベントも実施しています。

平成28年度は平成29年1月14日（土）～22日（日）の期間で実施され、参加ワーキンググループは12団体、会期中の入館者は2019人でした。

実行委員会形式で運営され、会期終了後も含めて5回の委員会を開催して、企画や各ワーキンググループ間の調整を行い、行政は事務局として実行委員会をフォローする形をとっています。



## 協働に至ったきっかけ・経緯等

ワーキンググループ間の連携・協力と、その活動成果の一般市民への還元のを望むワーキンググループ会員の市民からの提起を受けて平成11年度に「博物館まつり」として開催されました。なお、平成23年度から「博物館文化祭」に改称しました。

## お互いの特性を活かした役割分担

### ■ 行政の主な役割分担

会場の確保、実行委員会への助言、資料の作成、消耗品類の提供

### ■ 団体の主な役割分担

実行委員会の運営、各種事業・イベントの立案・企画、展示物作成、活動報告の発表、実演イベントの実施、ワーキンググループ間の調整、活動報告会の進行、会場設営と撤収

### 3. 提案型協働事業一覧（平成26年度～28年度実施事業）

#### ◆平成26年度実施 提案型協働事業

	事業名	担当部署	パートナー
1	応急手当の普及・啓発事業 (応急手当講習会等の実施)	消防本部 消防救急課	ひらつか応急手当協力会
2	外国籍市民支援放送事業	市民部 文化・交流課	多文化共生ひらつか情報局
3	食品の放射性物質簡易検査	市民部 市民情報・相談課	NPO法人ひらつかエネルギーカフェ
4 (P1)	感覚統合療法普及事業	健康・こども部 こども家庭課	ひろげよう子育て支援の会
5 (P4)	平塚市立小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	社会教育部 スポーツ課	東海大学地域スポーツクラブ
6 (P7)	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業	社会教育部 スポーツ課	認定NPO法人湘南ふじさわシニアネット

#### ◆平成27年度実施 提案型協働事業

	事業名	担当部署	パートナー
1	外国籍市民支援放送事業	市民部 文化・交流課	多文化共生ひらつか情報局
2	食品の放射性物質簡易検査	市民部 市民情報・相談課	NPO法人ひらつかエネルギーカフェ
3 (P1)	感覚統合療法普及事業	健康・こども部 こども家庭課	ひろげよう子育て支援の会
4 (P4)	平塚市立小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	社会教育部 スポーツ課	東海大学地域スポーツクラブ
5 (P7)	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業	社会教育部 スポーツ課	認定NPO法人湘南ふじさわシニアネット

#### ◆平成28年度実施 提案型協働事業

	事業名	担当部署	パートナー
1 (P4)	平塚市立小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	社会教育部 スポーツ課	東海大学地域スポーツクラブ
2 (P7)	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業	社会教育部 スポーツ課	認定NPO法人湘南ふじさわシニアネット
3 (P10)	不登校・ひきこもり改善・自立支援事業	健康・こども部 青少年課	NPO法人ぜんしん

※カッコ内は事例の紹介ページです。

#### 4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
1	平塚市民・大学交流委員会事業	企画政策部 企画政策課	平塚市民・大学交流委員会
2 (P13)	広報番組ひらつかビジョン	企画政策部 秘書広報課	東海大学文学部広報メディア学科学生
3	SunSun マルシェ	企画政策部 秘書広報課	SunSun マルシェ実行委員会
4	平塚まちなか美術館のアーティストたち展	企画政策部 秘書広報課	studio COOCA
5	平塚市地域安全運動推進大会	防災危機管理部 危機管理課	平塚市防犯協会
6	防犯だより発行	防災危機管理部 危機管理課	平塚市防犯協会
7	防犯街路灯設置維持管理支援	防災危機管理部 危機管理課	自治会町内会
8	防犯キャンペーン	防災危機管理部 危機管理課	平塚市防犯協会
9 (P14)	地域見守り花植え活動	防災危機管理部 危機管理課	平塚市防犯協会
10	避難所運営委員会	防災危機管理部 災害対策課	自治会町内会自主防災組織
11	避難行動要支援者登録制度	防災危機管理部 災害対策課	自治会町内会、民生委員児童委員協議会
12	津波防災パネル展	防災危機管理部 災害対策課	ひらつか防災まちづくりの会
13	津波避難ビルの取り組み	防災危機管理部 災害対策課	マンション管理組合
14	帰宅困難者対策訓練	防災危機管理部 災害対策課	女性防災クラブ平塚パワーズ、東海大学
15	平塚市防災インストラクター	防災危機管理部 災害対策課	市民
16	平塚市自主防災組織資機材等整備事業助成金	防災危機管理部 災害対策課	自治会町内会自主防災組織
17	平和意識普及・啓発事業	総務部 行政総務課	I LOVE PEACE 事業運営委員会
18	平和の折り鶴作成コーナー	総務部 行政総務課	市民
19	リレートーク「市民が探る平塚空襲、その時、人々は」	総務部 行政総務課	平塚の空襲と戦災を記録する会
20	湘南ひらつかテクノフェア	産業振興部 産業振興課	湘南ひらつかテクノフェア実行委員会

※カッコ内は事例の紹介ページです。



#### 4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
21	湘南ヤーコン応援団	産業振興部 産業振興課	湘南ヤーコン応援団
22	湘南ひらつかふれあいマーケット	産業振興部 産業振興課	湘南ひらつかふれあいマーケット出 店者会、平塚商工会議所
23	平塚市中小企業経営支援事業	産業振興部 産業振興課	湘南経営支援パートナーズ
24 (P15)	平塚市ビジネススペースプロジェクト	産業振興部 産業振興課	東海大学、神奈川大学等の大学生、 大学院生
25	平塚市児童生徒創意くふう展	産業振興部 産業振興課	市内小中学校児童生徒、平塚市議会、 平塚商工会議所、平塚市工業会連合 会、市内各ロータリークラブ、市内 各ライオンズクラブ
26	波力発電関連分野での新産業創出促 進事業	産業振興部 産業振興課	平塚海洋エネルギー研究会 (東京大学生産技術研究所他)
27	企業合同就職面接会	産業振興部 産業振興課	平塚商工会議所
28	湘南ひらつか名産品選定等事業	産業振興部 産業振興課	湘南ひらつか名産品選定委員会
29	ひらつか花アグリ花のある景観づく り事業	産業振興部 農水産課	金田花の会
30	米づくり体験隊	産業振興部 農水産課	ハッパ会
31	市民農園	産業振興部 農水産課	市内農家、市民
32	美味花市	産業振興部 農水産課	美味花市実行委員会
33	親子野菜づくり体験教室&採れたて 野菜調理教室	産業振興部 農水産課	サポートファーマークラブ
34	商業まつり	産業振興部 商業観光課	商業まつり実行委員会
35	湘南ひらつか七夕まつり	産業振興部 商業観光課	湘南ひらつか七夕まつり実行委員会
36	商店街にぎわい創出事業	産業振興部 商業観光課	平塚市中心街イベント実行委員会
37	花火大会開催事業	産業振興部 商業観光課	湘南ひらつか花火大会実行委員会
38	やすらぎ回廊モニターハイキング	産業振興部 商業観光課	平塚市観光協会
39	湘南ひらつかルネッサンスまつり	産業振興部 商業観光課	市内サークル
40	婚活観光イベント	産業振興部 商業観光課	NPO法人湘南ウエディングサポー ト

※カッコ内は事例の紹介ページです。



#### 4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
41	ボランティア&市民活動見本市	市民部 協働推進課	市民活動団体
42	ユースボランティア	市民部 協働推進課	市民活動団体
43	無料パソコン相談会	市民部 協働推進課	NPO 法人ひらつかIT サポート
44	市民向け講座等共催事業	市民部 協働推進課	市民活動団体
45	市民活動センターサポートスタッフ	市民部 協働推進課	市民（高校生、大学生）
46	ひらつか地域づくり市民大学	市民部 協働推進課 福祉部 福祉総務課 社会教育部 中央公民館	NPO法人湘南NPOサポートセンター
47	地域活動&市民活動合同パネル展	市民部 協働推進課	平塚市自治会連合会・市民活動団体
48	ひらつか市民活動センターまつり	市民部 協働推進課	ひらつか市民活動センターまつり実行委員会
49	公益信託ひらつか市民活動ファンド	市民部 協働推進課	ひらつか市民活動ファンド運営委員会、市民活動団体（助成団体）
50 (P16)	パソコン交流カフェ ぱそかふえ	市民部 協働推進課	NPO 法人ひらつかIT サポート
51	市民活動団体向けIT講座	市民部 協働推進課	NPO 法人ひらつかIT サポート
52	利用者対象応急手当講習会	市民部 協働推進課	ひらつか応急手当協力会
53	NPO 法人エール講座	市民部 協働推進課	NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ きしゃぼっぽ、NPO 法人大磯カドボランティア協会・NPO 法人地域住環境改善センター・認定 NPO 法人湘南ふじさわシニアネット
54	市民活動 PR のために企業祭への共同出展	市民部 協働推進課	市内市民活動団体
55	NPO・企業・大学のパートナーシップミーティング	市民部 協働推進課	県・企業・大学・市民活動団体
56	パフォーマンス団体お役立ち広場	市民部 協働推進課	市民活動団体・福祉施設
57	協働事業座談会	市民部 協働推進課	提案型協働事業経験団体

※カッコ内は事例の紹介ページです。

#### 4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
58	みんなの消費生活展	市民部 市民情報・相談課	平塚市食生活改善推進団体、平塚友の会、あおいほし、せっけんビレッジ、ユーコープ平塚市エリア会、湘南生活クラブ生協 commons 平塚、平塚市地域婦人団体連絡会
59	消費者週間キャンペーン	市民部 市民情報・相談課	消費者団体
60	測量・境界相談	市民部 市民情報・相談課	神奈川県土地家屋調査士会湘南第二支部
61	不動産相談	市民部 市民情報・相談課	神奈川県宅地建物取引業協会湘南中支部、神奈川県不動産鑑定協同組合
62	年金・社会保険・労災相談	市民部 市民情報・相談課	神奈川県社会保険労務士会平塚支部
63	許認可届出相談	市民部 市民情報・相談課	神奈川県行政書士会平塚支部
64	住宅（新築・リフォーム）相談	市民部 市民情報・相談課	湘央建設組合
65	分譲マンション管理相談	市民部 市民情報・相談課	神奈川県マンション管理士会湘南支部
66	国際交流関係事業	市民部 文化・交流課	平塚市国際交流協会
67	国内都市交流事業	市民部 文化・交流課	平塚市都市提携委員会
68	国連思想普及事業	市民部 文化・交流課	国連協会平塚支部
69	外国籍市民支援放送事業	市民部 文化・交流課	多文化共生ひらつか情報局
70	公的機関等からの依頼による通訳・翻訳等ボランティア	市民部 文化・交流課	平塚市通訳翻訳等ボランティアバンク
71	男女共同参画紙芝居の貸出・実演	市民部 人権・男女共同参画課	平塚てづくり紙芝居の会
72	平塚市男女共同参画社会に向けた情報誌編集委員会	市民部 人権・男女共同参画課	平塚市男女共同参画社会に向けた情報誌編集委員会
73	平塚市男女共同参画推進登録団体との事業共催	市民部 人権・男女共同参画課	平塚市男女共同参画推進登録団体
74	男女共同参画週間パネル展示	市民部 人権・男女共同参画課	平塚市男女共同参画推進登録団体
75	こころと命のサポート事業「自殺対策啓発事業」	福祉部 福祉総務課	浜岳中学校区子ども読書活動推進協議会
76	町内福祉村	福祉部 福祉総務課	町内福祉村

※カッコ内は事例の紹介ページです。

#### 4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
77	福祉有償運送	福祉部 福祉総務課	ワーカーズコレクティブかめさん、ひまわり福祉サービス、あいえる、お出かけサポーターズ、神奈川高齢者生活協同組合ケアステーションたむら、桜花
78	地域支援事業	福祉部 高齢福祉課	河内健康体操、宮松町健康体操、みんなのサロン、みずほ会、笑話会、すいすい会、平塚市障害者福祉協会
79	ひらつか元気応援ポイント事業	福祉部 高齢福祉課	市民（元気応援会員）、市内福祉施設、平塚市社会福祉協議会
80	高齢者の住まい探し相談会	福祉部 高齢福祉課	公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会
81	ゆめクラブ（老人クラブ）	福祉部 高齢福祉課	平塚市老人クラブ連合会
82	平塚市生きがい事業団 PR 活動	福祉部 高齢福祉課	平塚市生きがい事業団
83	ふれあいミニ運動会	福祉部 障がい福祉課	東海大学ボランティアサークル
84	ふれあいキャンプ	福祉部 障がい福祉課	平塚市社会福祉協議会（ボランティアセンター）、指定相談支援事業所
85	平塚市障がい福祉事業所製品展示即売会	福祉部 障がい福祉課	平塚市地域作業所連絡会
86	ひらつか障がい者福祉ショップありがとう	福祉部 障がい福祉課	ひらつか障がい者福祉ショップ運営協議会
87	TOKAI グローカルフェスタ2016	福祉部 障がい福祉課	東海大学ボランティアサークル
88	生活困窮世帯の中学生学習支援	福祉部 生活福祉課	社会福祉法人 湘南福祉センター
89	子育て支援事業への保育士派遣	健康・こども部 保育課	地域の子育て支援グループ
90	あそびの森	健康・こども部 保育課	平塚市社会福祉協議会、平塚市民生委員児童委員協議会、平塚市主任児童委員会、神奈川グッド・トイ委員会、おもちゃの病院ドクターくるりん、はちみつ音楽隊、まざあず、モンテッソーリ湘南子どもの家、よんぱくクラブ、イルカのおやこ、NPO法人 mama'shug
91	保育園での防災教室	健康・こども部 保育課	女性防災クラブ平塚パワーズ
92	保育園での絵本の読みきかせ	健康・こども部 保育課	読み聞かせボランティア
93	地域の子育てサークル・サロン	健康・こども部 保育課	平塚市民生委員児童委員協議会、平塚市主任児童委員会、子育てサークル

※カッコ内は事例の紹介ページです。

#### 4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
94	健康づくり支援事業	健康・こども部 健康課	平塚市健康推進委員連絡協議会
95	地域健康づくり活動推進事業	健康・こども部 健康課	健康クラブ・旭いきいきクラブ・は つらつフレンド・地域ふれあいの 会・いきいきサークル・ベルウォー キング・港なぎさウォーキング・い こいの里・でこぼこ・松が丘地区生 き生きとした地域を考える集い
96	献血推進事業	健康・こども部 健康課	市内ライオンズクラブ、日本赤十字 社神奈川県赤十字血液センター
97	健康ウォーキングマップ	健康・こども部 健康課	平塚市健康推進委員連絡協議会
98	健康づくり支援（栄養指導）事業	健康・こども部 健康課	平塚市食生活改善推進団体
99	平塚市成人式	健康・こども部 青少年課	平塚市成人式実行委員会
100	平塚市青少年交流体験事業	健康・こども部 青少年課	平塚市青少年交流体験事業実行委員 会、平塚市海洋少年隊、平塚市ジュ ニア・リーダーズクラブ
101	平塚市青少年健全育成のつどい	健康・こども部 青少年課	平塚市青少年健全育成のつどい実行 委員会
102	平塚市青少年国際交流事業	健康・こども部 青少年課	平塚市青少年国際交流事業実行委員 会、ヒコーキ雲の会、平塚市国際交 流協会
103	浅間祭	健康・こども部 青少年課	浅間祭実行委員会
104	平塚市子ども大会	健康・こども部 青少年課	平塚市子ども大会実行委員会
105	ジュニア・リーダー養成講習会	健康・こども部 青少年課	ジュニア・リーダーズクラブ
106	青少年指導員活動	健康・こども部 青少年課	青少年指導員
107	地域猫への取り組み	環境部 環境政策課	平塚のら猫を減らす会
108	平塚市環境市民講座	環境部 環境政策課	ひらつか環境ファンクラブ
109	環境・地球温暖化対策出前講座	環境部 環境政策課	ひらつか環境ファンクラブ
110 (P18)	ひらつか環境フェア	環境部 環境政策課	ひらつか環境フェア実行委員会
111	環境パネル展	環境部 環境政策課	ひらつか環境ファンクラブ
112	市民と大学生による里地里山再生プ ロジェクト	環境部 環境政策課	市民、東海大学、神奈川大学

※カッコ内は事例の紹介ページです。

4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
113	ひらつかCO2CO2（コツコツ）プラン	環境部 環境政策課	市民、小中学生
114	インクカートリッジ里帰りプロジェクト	環境部 環境政策課	市民、事業者
115	夏休み子ども環境教室(里山編)	環境部 環境政策課	里山をよみがえらせる会
116	夏休み子ども環境教室(川編)	環境部 環境政策課	金目川水系流域ネットワーク
117	夏休み子ども環境教室(海編)	環境部 環境政策課	平塚市漁業協同組合
118	ひらつか環境ファンクラブ活動発表会	環境部 環境政策課	ひらつか環境ファンクラブ
119	相模川の清掃と植栽	環境部 環境政策課	平塚環境対策協議会
120	一般家庭での生ごみ自家処理推進事業	環境部 循環型社会推進課	ごみを活かす会
121	生ごみ自家処理相談員制度	環境部 循環型社会推進課	生ごみ自家処理相談員
122	ごみ収集車へのエコかるた看板掲載	環境部 循環型社会推進課	子どもと親の環境教室「地球っ子ひろば」
123	まちぐるみ大清掃	環境部 循環型社会推進課	市内自治会、市民
124	まちづくり支援事業	まちづくり政策部 まちづくり政策課	袖ヶ浜地区まちづくり協議会 袖ヶ浜の環境を守るまちづくり協議会
125	西部丘陵地域資源まちづくり支援事業(P19)	まちづくり政策部 まちづくり政策課	湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会、東京農業大学地域環科学部
126	平塚市違反屋外広告物除却事業	まちづくり政策部 まちづくり政策課	平塚市違反屋外広告物除去協力員（愛称 M・K・O）
127	景観重点区域「都市のシンボル軸」の取組み	まちづくり政策部 まちづくり政策課	大門会
128	景観重点地区「歴史軸」の取組み	まちづくり政策部 まちづくり政策課	平塚宿まちなみ景観協議会
129	まちづくりわいわい塾	まちづくり政策部 まちづくり政策課	各地区住民
130	わたしが好きなまちかどスケッチ展	まちづくり政策部 まちづくり政策課	市内小学生 平塚商工会議所青年部
131	景観パネル展	まちづくり政策部 まちづくり政策課	景観アクションプラン関連団体
132	里山体験ワークショップ	まちづくり政策部 まちづくり政策課	湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会

※カッコ内は事例の紹介ページです。

#### 4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
133	景観アクションプラン	まちづくり政策部 まちづくり政策課	城所の里を育てる会
134	放置自転車のリサイクル	まちづくり政策部 交通政策課	神奈川県自転車商協同組合
135	建築耐震なんでも相談会	都市整備部 建築指導課	一般社団法人神奈川県建築士事務所 協会 平塚支部
136	住宅耐震相談会	都市整備部 建築指導課	木造住宅耐震診断技術者
137	高麗山公園ハイキングコース等植生 調査事業	都市整備部 みどり公園・水辺課	湘南の森
138	平塚市緑化まつり	都市整備部 みどり公園・水辺課	平塚市緑化まつり実行委員会
139	馬入花畑整備事業	都市整備部 みどり公園・水辺課	馬入花畑の会
140	河川環境整備事業（馬入水辺の楽校）	都市整備部 みどり公園・水辺課	馬入水辺の学校の会
141	渋田川桜まつり	都市整備部 みどり公園・水辺課	渋田川桜まつり実行委員会
142	河内川あじさいまつり	都市整備部 みどり公園・水辺課	河内川あじさいまつり実行委員会
143	花とみどりの推進団体育成事業	都市整備部 みどり公園・水辺課	平塚市緑化モデル団体連絡協議会
144 (P20)	なでしこ公園ふれあい花壇の協働管 理	都市整備部 みどり公園・水辺課	なでしこフラワーボランティア
145	花とみどりの推進団体育成事業 （公園愛護会連絡協議会）	都市整備部 みどり公園・水辺課	平塚市公園愛護会連絡協議会 平塚市内各公園愛護会
146	緑化ポスター・標語コンクール	都市整備部 みどり公園・水辺課	市民
147	くす丸くんとなっちゃん隊 緑化活 動	都市整備部 みどり公園・水辺課	くす丸くんとなっちゃん隊
148	湘南里川づくり	都市整備部 みどり公園・水辺課	市民（湘南里川見守り隊）
149	湘南平魅力発信イベント「愛ラブ湘南 平」	都市整備部 みどり公園・水辺課	湘南ハートフル・ソングス
150	花と緑のモデル地区	都市整備部 みどり公園・水辺課	八重咲自治会
151	花と緑のモデル商店街	都市整備部 みどり公園・水辺課	代官町商店街
152	スコアボード点示員・放送員	都市整備部 総合公園課	平塚市総合公園技術員協議会

※カッコ内は事例の紹介ページです。

#### 4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
153	鈴川鯉のぼり祭り	土木部 土木総務課	大畑自治会
154 (P21)	平塚駅南口噴水広場のバラ植栽の維持管理	土木部 道路管理課	平塚 花のまちづくりの会
155	道路損傷個所の通報	土木部 道路管理課	市民
156	花のふれあいスポット推進事業	土木部 道路管理課	自治会、商店街、ボランティア 等
157	国道271号市道交差地下道清掃委託	土木部 道路管理課	自治会、交通安全協会岡崎支部
158	田村16号線清掃委託	土木部 道路管理課	自治会
159	市道及び管理協定道路草刈委託	土木部 道路管理課	自治会 等
160	金目川鈴川サイクリングコース草刈委託	土木部 道路管理課	自治会 等
161	平塚市下水道用マンホール蓋のデザイン使用	土木部 下水道経営課	市民、事業者等
162	下水道・水路異常損傷の通報	土木部 下水道整備課	市民
163 (P22)	声の議会だより	議会局	平塚音訳赤十字奉仕団、平塚市社会福祉協議会
164	選挙啓発事業	選挙管理委員会事務局	平塚市明るい選挙推進協議会
165	医療通訳	市民病院 医事課	特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ
166	傾聴ボランティア	市民病院 医事課	病院ボランティア
167	小児読み聞かせボランティア	市民病院 医事課	病院ボランティア
168	消防出初式	消防本部 消防総務課	平塚古式消防保存会、平塚市少年消防クラブ
169	防火防災講演会	消防本部 予防課	平塚市危険物安全協会
170	平塚市少年消防クラブ	消防本部 予防課	平塚市少年消防クラブ
171	防火キャンペーン	消防本部 予防課	平塚市少年消防クラブ
172	消防フェスティバル	消防署 管理担当	平塚市消防団 平塚市少年消防クラブ ひらつか応急手当協力会

※カッコ内は事例の紹介ページです。

#### 4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
173	通学路安全対策事業	学校教育部 教育総務課	市内地域団体
174 (P23)	通学路の安全対策に係る合同点検	学校教育部 教育総務課	保護者、自治会、警察
175	ふれあい給食	学校教育部 学校給食課	農水畜産物生産者、関係機関
176	地域教育力ネットワーク推進事業	社会教育部 社会教育課	平塚市地域教育力ネットワーク協議会
177	放課後子ども教室推進事業	社会教育部 社会教育課	やわた子ども村・港放課後子ども教室
178	平塚市展	社会教育部 社会教育課	平塚市展委員会
179	村井弦斎まつり	社会教育部 社会教育課	村井弦斎まつり実行委員会
180	エコ・ミュージアム金目まるごと博物館事業	社会教育部 社会教育課	金目エコミュージアム推進委員会
181	平塚市文化祭	社会教育部 社会教育課	平塚市文化連盟
182	芸術文化こども体験教室	社会教育部 社会教育課	平塚市地域教育力ネットワーク協議会、平塚市文化連盟・相模人形芝居前鳥座
183	歴史的建造物保存・活用事業	社会教育部 社会教育課	記念館企画委員会
184 (P24)	土曜日の教育支援体制等構築事業	社会教育部 社会教育課	横内マイタウンスクール
185	各地区公民館おはなし会	社会教育部 中央公民館	各地区公民館お話し会ボランティア
186	公民館フェスティバル	社会教育部 中央公民館	公民館利用者
187	各地区公民館まつり	社会教育部 中央公民館	地域団体・公民館利用者
188	市民体育レクリエーション地区大会	社会教育部 中央公民館	地域団体・市民体育レクリエーション地区大会（実行委員会）
189	知恵袋バンク	社会教育部 中央公民館	市民、市内団体
190	高齢者学級	社会教育部 中央公民館	市内団体等
191	家庭教育学級	社会教育部 中央公民館	市内団体等
192	児童・生徒地域参加事業	社会教育部 中央公民館	市内団体等

※カッコ内は事例の紹介ページです。



#### 4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
193	セカンドライフ教室	社会教育部 中央公民館	市内団体等
194	市民大学講座	社会教育部 中央公民館	市内団体等
195	市民アカデミー講座	社会教育部 中央公民館	市内団体等
196	ちゅうおう FESTA	社会教育部 中央公民館	ちゅうおう FESTA 実行委員会
197	家庭教育講演会	社会教育部 中央公民館	平塚市 PTA 連絡協議会
198	平塚市市内駅伝競走大会	社会教育課 スポーツ課	平塚市市内駅伝大会実行委員会 平塚市陸上競技会 平塚市スポーツ推進員協議会
199	女性バレーボール大会	社会教育課 スポーツ課	平塚ママさんバレーボール協会
200	平塚市少年少女マラソン大会	社会教育課 スポーツ課	平塚市陸上競技会 平塚ロータリークラブ
201	平塚市市民総合体育大会	社会教育課 スポーツ課	平塚市体育振興連絡協議会 平塚市内各地区体育振興会 平塚市体育協会
202	平塚市スポーツ推進委員協議会	社会教育課 スポーツ課	平塚市スポーツ推進委員協議会
203	市民総合体育大会ニュースポーツ大会 パークゴルフ競技	社会教育課 スポーツ課	NPO法人湘南平塚パークゴルフ協会
204	市民総合体育大会ニュースポーツ大会 バウンドテニス競技	社会教育課 スポーツ課	平塚市バウンドテニス協会
205	市民総合体育大会ニュースポーツ大会 ひらつかトリムバレーボール大会	社会教育課 スポーツ課	平塚市スポーツ推進委員協議会
206	平塚市少年少女剣道大会	社会教育課 スポーツ課	平塚市剣道連盟 平塚なでしこライオンズクラブ
207	平塚市少年少女水泳大会	社会教育課 スポーツ課	平塚水泳協会 平塚ライオンズクラブ
208	平塚市少年野球大会	社会教育課 スポーツ課	平塚市少年野球大会実行委員会 平塚市少年野球連盟 平塚市中学軟式野球連盟
209	各種スポーツ大会開催事業	社会教育課 スポーツ課	平塚市スポーツクラブ連合
210	平塚レクリエーション連盟	社会教育課 スポーツ課	平塚レクリエーション連盟
211	女性テニス大会	社会教育課 スポーツ課	平塚市テニス協会
212	女性卓球大会	社会教育課 スポーツ課	平塚卓球協会

※カッコ内は事例の紹介ページです。

#### 4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
213	女性バドミントン大会	社会教育課 スポーツ課	平塚市バドミントン協会
214	平塚市体育協会	社会教育課 スポーツ課	平塚市体育協会
215	ナイターソフトボール大会	社会教育課 スポーツ課	平塚市ソフトボール協会
216	学校体育施設開放事業	社会教育課 スポーツ課	各小中学校開放運営委員会
217	手話ダンスによる健康づくり事業	社会教育課 スポーツ課	HAND SIGN
218	平塚市スポーツ指導者制度	社会教育課 スポーツ課	平塚市スポーツ指導者登録者
219	平塚市スポーツボランティア制度	社会教育課 スポーツ課	平塚市スポーツボランティア登録者
220	大神スポーツ広場ボランティア整備	社会教育課 スポーツ課	湘南平塚草野球リーグ連盟
221	ひらつか市民スポーツフェスティバル	社会教育課 スポーツ課	ひらつか市民スポーツフェスティバル実行委員会
222	中央図書館映画会	社会教育課 中央図書館	映画会ボランティア
223	ブックスタート	社会教育課 中央図書館	ブックスタートボランティア
224	平塚市子ども読書活動推進フォーラム	社会教育課 中央図書館	各中学校区子ども読書活動推進協議会
225	おはなし会（中央図書館）	社会教育課 中央図書館	中央図書館おはなし会ボランティア
226	乳幼児向けおはなし会（赤ちゃんおはなし会）（中央図書館）	社会教育課 中央図書館	中央図書館乳幼児向けおはなし会ボランティア
227	おはなし会（西図書館）	社会教育課 中央図書館	地域ボランティアかぼちゃの馬車
228	乳幼児向けおはなし会（赤ちゃんおはなし会）（西図書館）	社会教育課 中央図書館	乳幼児向けおはなし会ボランティア
229	おはなし会（南図書館）	社会教育課 中央図書館	南図書館お話し会ボランティア
230	乳幼児向けおはなし会（赤ちゃんおはなし会）（南図書館）	社会教育課 中央図書館	南図書館赤ちゃんおはなし会ボランティア
231	おはなし会（北図書館）	社会教育課 中央図書館	おはなし会ボランティア
232	乳幼児向けおはなし会（赤ちゃんおはなし会）（北図書館）	社会教育課 中央図書館	乳幼児向けおはなし会ボランティア

※カッコ内は事例の紹介ページです。

#### 4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
233	平塚市子ども読書活動推進事業	社会教育部 中央図書館	各中学校区子ども読書活動推進協議会
234 (P25)	博物館文化祭	社会教育部 博物館	博物館文化祭実行委員会
235	東国史跡踏査団	社会教育部 博物館	東国史跡踏査団 会員
236	平塚の古代を学ぶ会	社会教育部 博物館	平塚の古代を学ぶ会 会員
237	古代生活実験室	社会教育部 博物館	古代生活実験室 会員
238	石仏を調べる会	社会教育部 博物館	石仏を調べる会 会員
239	民俗探訪会	社会教育部 博物館	民俗探訪会 会員
240	お囃子研究会	社会教育部 博物館	お囃子研究会 会員
241	聞き書きの会	社会教育部 博物館	聞き書きの会 会員
242	ろばたばなし	社会教育部 博物館	ろばたばなし 話者
243	古文書講読会	社会教育部 博物館	古文書講読会 会員
244	裏打ちの会	社会教育部 博物館	裏打ちの会 会員
245	平塚の空襲と戦災を記録する会	社会教育部 博物館	平塚の空襲と戦災を記録する会 会員
246	地域史研究ゼミ	社会教育部 博物館	地域史研究ゼミ 会員
247	相模川の生い立ちを探る会	社会教育部 博物館	相模川の生い立ちを探る会 会員
248	星まつりを調べる会	社会教育部 博物館	星まつりを調べる会 会員
249	天体観察会	社会教育部 博物館	天体観察会 会員
250	展示解説ボランティアの会	社会教育部 博物館	展示解説ボランティアの会 会員
251	みんなで調べよう	社会教育部 博物館	みんなで調べよう参加者 平岡幼稚園
252	デッサン教室	社会教育部 美術館	東海大学芸術学科

※カッコ内は事例の紹介ページです。

#### 4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
253	こども向けワークショップ	社会教育部 美術館	東海大学芸術学科
254	こども向けワークショップ (遊んでのびのび赤ちゃんアート)	社会教育部 美術館	NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会
255	こども向けワークショップ (元気にのびのびキッズアート)	社会教育部 美術館	NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会
256	こども向けワークショップ (缶バッチ・プラバン作り)	社会教育部 美術館	中高生ボランティア
257	こども向けワークショップ (キッズ鑑賞ツアー)	社会教育部 美術館	NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会
258	こども向けワークショップ (0歳からの鑑賞ツアー)	社会教育部 美術館	NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会
259	対話による美術鑑賞事業	社会教育部 美術館	ボランティアチームひらびあつま〜 れ
260	美術館ボランティア	社会教育部 美術館	湘南フレンズ倶楽部
261	こども年賀状と大人絵手紙展	社会教育部 美術館	市民（高校生以上）
262	保育園鑑賞ツアー	社会教育部 美術館	NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会
263	作ってあそぼう わくわくランド	社会教育部 美術館	市内保育士

※カッコ内は事例の紹介ページです。



## お問合せ・連絡先

**平塚市市民部 協働推進課 市民協働担当**

〒254-0811

平塚市八重咲町3-3 JAビルかながわ2階

**電話** 21-7534 **FAX** 22-3037

**E-mail** : [kyodo@city.hiratsuka.kanagawa.jp](mailto:kyodo@city.hiratsuka.kanagawa.jp)